

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	災害時の歯科保健医療事業 「災害時の歯科保健医療を平時に活かすために」 テーマ「知っておきたい災害時の歯科保健医療」
2. 申請者名：	一般社団法人岩手県歯科医師会会長 箱崎 守男 担当者：一般社団法人岩手県歯科医師会専務理事 佐藤 保
3. 実施組織：	事業実施者：岩手県歯科医師会 事業共催： 岩手県・岩手県歯科衛生士会・岩手県歯科技工士会 事業協力者：岩手県・岩手県医師会・岩手県薬剤師会・岩手県看護協会 岩手県介護支援専門員協会・岩手県栄養士会、岩手県食生活改善推進 員団体連絡協議会・岩手県歯科衛生士会・岩手県歯科技工士会
4. 事業の概要：	①災害時における歯科保健医療啓発に必要な教材作成 ②教材を活用した講習会、講演会の開催 ③岩手県歯科医師会ホームページ掲載など、関係団体への周知
5. 事業の内容：	①パンフレット「災害時の歯科保健」の作成(5000部) ②リーフレット「災害時の歯科保健」の普及方法・関係機関への配布 1)岩手県歯科医師会会員歯科診療所 3,000部 2)岩手県歯科衛生士会会員 400部 3)岩手県歯科技工士会会員 200部 4)一般県民 500部 5)市町村担当課 150部 ③リーフレット「災害時の歯科保健」を活用した講演会、研修会の開催
6. 実施後の評価(今後の課題)：	災害時における歯科の役割は、身元確認作業始め避難所や仮設住宅における口腔ケアの実施、災害歯科治療など、今回の東日本大震災においても多くの役割を果たしたが、3年経過しその役割について風化が懸念される傾向にあった。今回同助成事業を実施し、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が一体となった被災地における歯科保健医療の役割を地域住民等に認識させることが出来た。 今後の課題としては、被災地における歯科保健医療の役割を継続的に周知することが課題である